

- 問1 中部地方の伝統産業と近現代の工業化に関する記述のうち、多治見市の産業的特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 良質な石灰石の産地であることを背景に、セメント工業とそれを用いた住宅建材の生産が全国1位である。 | 2. 伝統的な陶磁器の製造技術を高度な先端技術へと転換し、半導体部品などの製造に活かしている。 | 3. 豊富な木材資源と水力を利用し、古くから続く和紙の技術を大型の製紙工場でのパルプ製造へ発展させた。 | 4. 内陸部の気候を利用して養蚕業が発展し、現在ではその技術を活かした世界最大の化学繊維工業地帯となった。 |
|---|---|---|---|
- 問2 日本列島の日本海側における主要な都市のうち、広大な越後平野を流れる河川の河口に位置し、水田単作地帯の農産物の集散地や港町として成長し、現在は行政上も都道府県に準ずる大きな権限を持つ都市はどこか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 秋田市 | 2. 新潟市 | 3. 山形市 | 4. 長野市 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問3 ある県の社会統計について、人口密度が1平方キロメートルあたり369.6人と比較的高く、産業別就業者割合において第3次産業が約74%を占め、さらに昼間人口が夜間人口を上回る都市的な特徴を持つ県はどこですか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 山口県 | 2. 埼玉県 | 3. 愛知県 | 4. 北海道 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問4 中部地方の各県の特色について述べた次の文のうち、農業生産の統計において米の割合が57.0%と非常に高い県（新潟県など）や、野菜の割合が33.9%に達する県（長野県など）が含まれる地域の、気候と農業の関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 太平洋側の温暖な気候を活かして、冬でも温暖な環境で野菜を育てる促成栽培が盛んであり、大消費地である都市部へ向けて出荷されている。 | 2. 夏に雨が少なく乾燥する気候に適応するため、ため池を多く設置することで農業用水を確保し、古くから米作りと果樹栽培を両立させている。 | 3. 日本海側の平野部では稲作が盛んに行われる一方で、内陸の標高が高い地域では1月の平均気温が氷点下になるような冷涼な気候を活かした野菜栽培が行われている。 | 4. 広大な平野部において、大型の機械を導入した効率的な生産体制を整えることで、小麦やてんさいなどの畑作と大規模な酪農が組み合わされている。 |
|---|---|--|--|
- 問5 新潟市の中心部を描いた地図において、市役所や新潟駅などの主要施設の間を通り、河口付近に重要文化財である萬代橋が架けられている、日本でも最も長い河川の名称を選びなさい。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 阿賀野川 | 2. 最上川 | 3. 天竜川 | 4. 信濃川 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問6 日本のある果物の生産量上位県を見ると、1位が山梨県、次いで長野県、山形県、岡山県、福岡県となっています。この果物の栽培に適した地理的条件についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 水はけが良い扇状地や、年間の降水量が少なく日照時間が長い内陸の気候が適している。 | 2. 年間を通して温暖で雨が多く、平坦な沖積平野が広がる地域が適している。 | 3. 夏でも涼しく、保水力の高い粘土質の土壌が広がる湿地帯が適している。 | 4. 冬の降雪量が多く、年間を通じて潤潤で日照時間が短い地域が適している。 |
|---|---------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
- 問7 愛知県豊田市を中心に発達している工業の種類と、その工業が日本一の工業出荷額を誇る中京工業地帯において果たしている役割について、正しい説明はどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 伝統的な陶磁器工業が発展しており、現在も中京工業地帯の出荷額の大部分を占めている。 | 2. 石油化学工業が中心であり、沿岸部に大規模なコンビナートが形成されている。 | 3. 鉄鋼業が主軸であり、海外から輸入した原料を加工する大規模な製鉄所が産業の核となっている。 | 4. 自動車工業が盛んで、多くの関連部品工場が集まることで効率的な生産体制が築かれている。 |
|--|---|---|---|
- 問8 農産物の収穫量の統計において、長野県が約19万8千トンで全国1位、次いで茨城県、群馬県が上位となっている農産物があります。特に長野県の高原地帯において、夏から秋にかけての涼しい気候を利用して盛んに生産されるこの農産物の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. たまねぎ | 2. キャベツ | 3. ピーマン | 4. レタス |
|---------|---------|---------|--------|
- 問9 山梨県、群馬県、岐阜県、富山県などに囲まれた本州中央部の内陸県で、平均標高が1000メートルを超える地形的特徴を持つ長野県において、その環境を活かして生産が盛んに行われている農産物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-------------------------|----------------------|--------------------|
| 1. サトウキビやパイナップルなどの亜熱帯作物 | 2. ピーマンやナスなどの促成栽培による夏野菜 | 3. みかんやオリーブなどの耐乾燥性果樹 | 4. レタスやハクサイなどの高原野菜 |
|-------------------------|-------------------------|----------------------|--------------------|
- 問10 富山県から静岡県に至る日本の断面において、標高3,000メートル級の飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈が連なる「日本アルプス」が位置する県と、その南側に位置し富士山の北側に隣接する県の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 岐阜県と愛知県 | 2. 群馬県と山梨県 | 3. 長野県と山梨県 | 4. 岐阜県と長野県 |
|------------|------------|------------|------------|
- 問11 諏訪盆地における工業の歴史的な変遷と、現在の状況について述べた説明として、正しいものはどれですか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 明治時代から一貫して輸送用機械の製造が盛んであり、現在は広大な平坦地を利用した自動車の組み立て工場が集積している。 | 2. 明治時代に盛んだった綿糸の製造から、戦後は重化学工業へと転換し、現在は輸入した鉄鉱石をもとに大規模な製鉄が行われている。 | 3. 明治時代に盛んだったパルプ・製紙業から、戦後は石油化学工業へと転換し、現在はプラスチック製品の出荷額が全国有数である。 | 4. 明治時代に盛んだった生糸の製造から、戦後は精密機械工業へと転換し、現在は電子部品や計測機器などの製造も中心となっている。 |
|--|---|--|---|
- 問12 日本の冬の気候において、日本海側で世界的に見ても稀なほどの降雪が見られる要因を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 太平洋側から吹く温かく湿った季節風が、高い山脈を越える際に冷却されて雪を降らせるため。 | 2. 大陸からの冷たく乾燥した季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を取り込み、山脈にぶつかって上昇するため。 | 3. 赤道付近で発生した熱帯低気圧が日本海を北上し、大陸からの寒気と混ざり合うことで大雪をもたらすため。 | 4. 冬に勢力を強める小笠原気団が日本列島を覆い、日本海側の湿った空気を急激に冷やすため。 |
|--|--|--|---|
- 問13 愛知県における1960年から2014年にかけての製造品出荷額の推移と、その産業構造の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 2014年時点の統計では、食料品工業と化学工業の合計出荷額が全体の過半数を占めている。 | 2. 金属・機械・化学を合わせた出荷額が、1兆円以下から30兆円を超える規模へと大きく成長した。 | 3. 大規模な工場が閉鎖されたため、製造品出荷額は2014年にかけて減少傾向にある。 | 4. 事業所数が一貫して増加し続けたことで、労働集約的なせまい工業の割合が拡大した。 |
|--|--|--|--|